

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン

2022.10.20

1 参加するすべての方々へ 参加する皆様には、以下の項目を遵守していただきます。

- (1) 各チームは、チーム内に感染防止対策責任者をおき、チーム内の感染防止に努めるとともに、すぐに連絡が取れるようにしておく。
- (2) 1週間前から起床時の自宅での検温を行い、「健康チェックシート」に記入の上、本部に提出する。
- (3) 体調管理の徹底をする。
→以下の項目に当てはまる方は、参加を見合わせる。こと。(下記の2.大会参加の可否判断についてに沿って対応すること。)
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ④ 嗅覚、味覚の異常
 - ⑤ 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
 - ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる
 - ⑦ 直近2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (4) 競技中以外はマスク着用をする。競技中もスポーツマスク等の着用を推奨する。
試合後の対戦チーム、審判、TO への挨拶は、すべて行わないこと。
- (5) 声を出しての応援は自粛する。ベンチの指導者は、マスクをずらしての指示を禁止する。
- (6) 入場制限については、会場ごとに定める。
【広島県立総合体育館 大アリーナ・小アリーナ】
選手・チームスタッフ・観戦者についての制限はしない。
【広島市内スポーツセンター】
選手は、試合開始予定時間の1時間前から入館できる。
観戦者は、試合開始予定時間の30分前から入館できる。
自チームの試合だけ、応援、観戦できる。試合終了後、速やかに退館すること。
【広島市外スポーツ施設・中学校体育館】
別途、大会ごとに定める。

2 大会参加の可否判断について

- ① 大会開催前または開催中、ベンチメンバーに体調不良者が発生した場合の対応は、以下の通りとする。
 - ア) 医療機関を受診し、PCR 検査等を受け、医師の診断を受けることとする。
陽性が確認された場合は、ベンチメンバー全員が PCR 検査等を受け、陰性が確認された者のみが大会に参加できる。
結果が出るまで時間がない場合は、チームまたは各自で「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットで、検査する。結果は、名前と日付を書き、メーカー名が分かる外箱や袋もスマートフォンなどで撮影する。チーム代表者は、必ず確認をすること。**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
 - イ) 複数の陽性者が発生し、チーム内でのクラスターが疑われる場合は、チームの参加を辞退すること。
 - ウ) 上記ア・イが発生した場合は、速やかに大会本部に連絡し対応の指導を仰ぐ。
- ② 大会開催中、対戦相手に陽性者が判明した場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) チームまたは各自で「体外診断用医療品」と記された抗原検査キットで、検査する。結果は、名前と日付を書き、メーカー名が分かる外箱や袋もスマートフォンなどで撮影する。チーム代表者は、必ず確認をすること。**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
 - イ) 複数の陽性者が発生し、チーム内でのクラスターが疑われる場合は、チームの参加を辞退すること。
 - ウ) 上記ア・イが発生した場合は、速やかに大会本部に連絡し対応の指導を仰ぐ。
- ③ 大会開催後に陽性者が判明した場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 大会参加後 5 日以内に、参加チーム及び関係者から陽性者が判明した際は、当該チーム及び関係者は大会本部に連絡する。
- ④ 選手の同居家族に陽性者がいるなど、濃厚接触者に該当する場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 検査をしない場合は、感染者との最後の接触から 6 日目から大会に参加できる。
 - イ) 検査をする場合は、最後の接触から 2 日目及び 3 日目の**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
- ⑤ 学年・学級閉鎖中の場合の対応は、下記の通りとする。
 - ア) 生徒・保護者が大会参加を希望し、当該選手に発熱等の症状がない場合は、大会直前に検査を行い、**陰性が確認された者のみが大会に参加できる。**
- ⑥ 抗原検査キットについては、各自またはチームが事前に準備しておくこと。

※【第 5 2 回北海道全国中学校バスケットボール大会感染症ガイドライン】参照